

コンソール接続用ターミナルエミュレータの正しい設定のトラブルシューティングと適用

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

[コンソールセッションでキーストロークが受け付けられない](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、PCをルータのコンソールポートに接続し、コマンドラインインターフェイス(CLI)を使用してアクセスする場合に適用する正しい設定について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

表記法

表記法の詳細については、『シスコテクニカルティップスの表記法』を参照してください。

問題

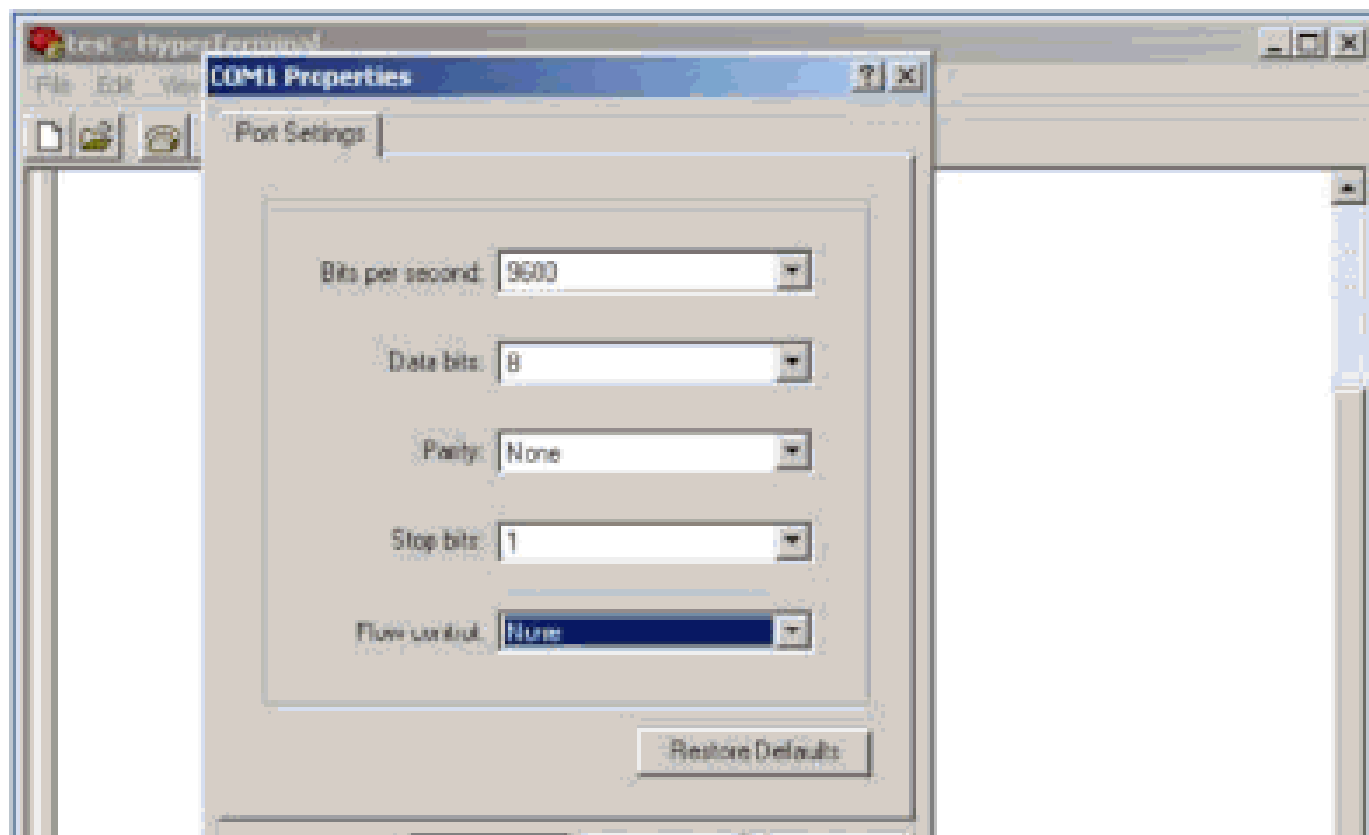
コンソールケーブルをPCのCOMシリアルポートまたはUSBシリアルアダプタからルータのコンソールポートに接続すると、ターミナルエミュレータにルータプロンプトが表示されません。また、ターミナルエミュレータソフトウェアで文字化けが発生し、ルータがキーストロークを受け付けなくなるという症状が発生する場合があります。ルータがクラッシュしたか、または応答していないように見えます。

解決方法

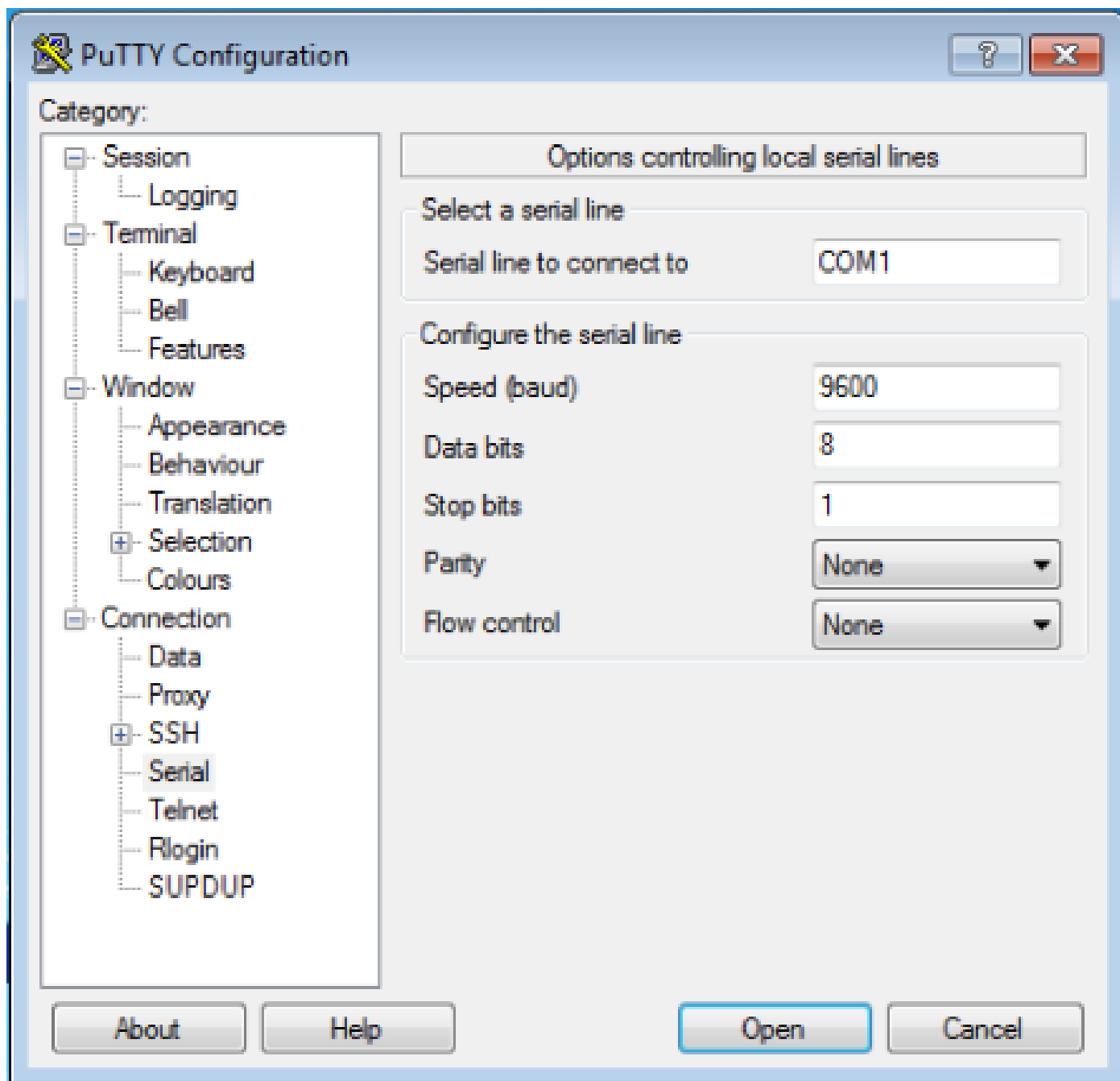
ターミナルエミュレータソフトウェアの設定を正しく行う必要があります。正しく行わないと、画面に不明瞭な文字が表示されます。接続をセットアップする場合には、次の設定を使用します。


Bits per sec : 9600
Data bits : 8
Parity : none
Stop bits : 1
Flow control : none

Hyper Terminalを搭載したWindowsベースのPCでこれらの設定を行う方法の例を次に示します。





PuTTYターミナルエミュレータでこれらの設定を行う方法の例を次に示します。



 注:USBシリアルアダプタを使用してルータへの接続を確立する場合は、USBアダプタに割り当てられているCOMポートを確認し、ターミナルエミュレータの設定で適切なCOM番号を選択してください。

これらの設定がない場合、ルータは通常は出力を表示できますが、キーストロークは受け付けません。そのため、ルータがハングまたはクラッシュしたように見えます。正しい設定を使用すると、異なるターミナルエミュレータを使用してルータを設定および監視できます。選択するソフトウェアは、接続に使用するPCまたはラップトップによって異なります。

 注：一部のルータでは、コンソール速度がコンフィギュレーションレジスタで変更されており、9600の1秒あたりのビット数は機能しません。ただしこの状況は一般的ではありません

。有効な速度 (9600 bps 以外) は、1200、2400、および 4800 bps です。一部のプラットフォーム (特に 3600 シリーズ ルータ) では 19200、38400、57600、および 115200 bps がサポートされています。このドキュメントで説明されている設定で接続できない場合は、これらの速度を試してください。

コンソール セッションでキー ストロークが受け付けられない

この問題は、次のいずれかが原因です。

- ポー レートとビット/秒の値が異なる
- コンソール ケーブルの不具合
- キーボードのスクロール ロック オプションがオンになっている (スクロール ロック キーが無効になっていることを確認してください)

関連情報

- [ルータがハングする場合のトラブルシューティング](#)
- [ルータでの Telnet、コンソールおよび AUX ポートのパスワードの設定](#)
- [PuTTY経由でCLIにアクセスし、300および500シリーズマネージドスイッチのコンソール接続を使用する](#)
- [テクノロジーに関するサポートページ](#)
- [シスコテクニカルサポートおよびダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。